

**This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

公告 昭 32.2.20 出願 昭 30.4.13 (前特許出願日援用)
実願 昭 31-53353

出願人 考案者 小 野 逸 三 大阪市西区立売堀北通 4 の 21
代理人 弁理士 押 田 翼 (全 2 頁)

工 作 物 に 定 着 し 得 る 穿 孔 機

図 面 の 略 解

第1図は側面図、第2図は第1図Ⅱ-Ⅱ線に於ける横断平面図である。

実用新案の性質、作用及効果の要領

本案は穿孔具1を備える回転軸2の直下に空間3を有する台盤4を、上記回転軸2の駆動機構及び操作機構を支持する柱軸5に対して上記穿孔具1の穿孔行程範囲内の高さに定着するのである。そして台盤4の下面には各所に電磁石6,6を設けし、これを励磁或は消磁せしむべき電気回路7のスイッチ8を柱軸5に装備する。

上記構造に於て台盤4の形状は図のように馬蹄形のもの或は使用する工作物の形状に適應し得る如く円形、方形等任意のものとし得ることは勿論である。

本案は上記の構造を有するものであるから、穿孔具1の穿孔行程の下部は台盤4の下面に到達するものである。穿孔すべき工作物9上に直接台盤4を載置し、穿孔位置と穿孔具1の上下位置を決定したる後、スイッチ8により電磁石を励磁すれば電磁石6,6はその吸着能力により、工作物上に固着せられるから穿孔具1を操作して穿孔を行うもその反力或は回転反力により台盤4は動揺することなく強力な穿孔作業を行い得るものである。そして穿孔作業を終えた後は、電磁石6,6を消磁せしめれば直ちに容易に台盤4を工作物より離れさせることができるから、之を任意に移動して更に穿孔すべき場所に於て上述のように穿孔作業を行い得るものである。

本案構造によれば、巨大な工作物に穿孔作業を行う場合に工作物を取扱うことなく穿孔機を容易に移動し、且つ所要の場所に於て台盤を工作物に定着して穿孔を行い得る軽便性を有し、工作物の形状によつては穿孔機を横向き或は倒立に定着しても穿孔作業を行い得る応変性を有するものである。

又穿孔作業の確実性については従来使用されるモーターハンドドリルではドリルの機体を正確に保持すべき何等の基準なく、且つ仮に取付け得てもその推力の与え方たるやボール盤のような軽便性なく、且つ何等の基準なきものであるから穿孔すべき軸線に対してドリルの軸線を正確にすることは到底不可能であるに対し、本案に於ては工作物上に穿孔具1の回転及び推進機構を柱軸5にて支えしめ、且つ台盤4にてこれを支承するものであるから、穿孔具の作動は当然正確に遂行せられ且つ強力である。

本案は上述の通り可搬的にして、しかも工作物の任意の箇所に容易に定着し得、且つ正確強力に穿孔作業を遂行し得る多大の効果を有するものである。

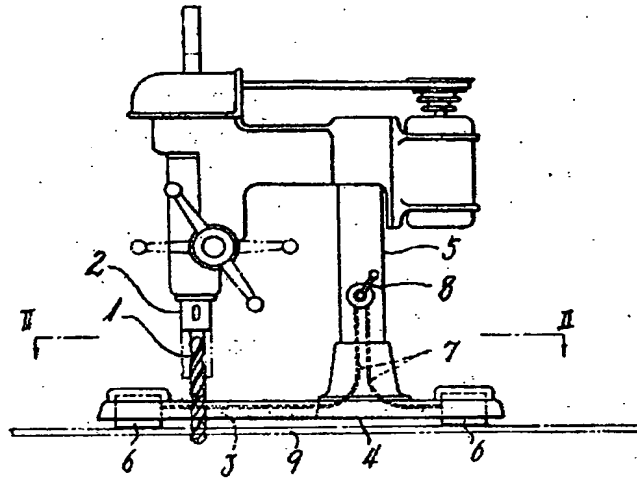
登 録 請 求 の 範 囲

図面に示すように、穿孔具1の直下に空間部3を有する台盤4を、穿孔具の回転及び推進機構を備えた柱軸5に対し穿孔具の行程が及ぶ範囲内の高さに定着し、且つ台盤の下面に電磁石6を設けし、柱5に電磁石6のスイッチ8を装備してなる工作物に定着し得る穿孔機の構造。

(2)

實用新案出願公告
昭32—586

第1圖



第2圖

